

フジコー技報第33号によせて

北九州市教育委員会教育長

太田 清治
Kiyoji Oota



株式会社フジコーにおかれましては、鉄鋼事業や製品事業において、さまざまな技術開発に熱心に取り組まれるとともに、光触媒技術を活かし、安心・快適な空間の提供など、市民の身近な技術開発にも取り組んでおられます。長年にわたる技術研鑽と社会貢献へのご尽力に対し、心より敬意を表します。また、北九州市教育委員会が発注する、学校施設の大規模改修やトイレ整備事業においては、貴社の豊富な経験と高い技術力により、多大なるご貢献を賜っておりますことに、深く感謝を申し上げます。

北九州市教育委員会では、令和6年8月に、「こどもまんなかで質の高い教育環境」の実現に向けて、「北九州市こどもまんなか教育プラン」を策定しました。このプランでは、大きく5つのミッションを掲げています。その第1番目として、『全てのこどもにとって「居心地のよい学校」をつくる』こととし、学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくるため、トイレの洋式化や空調機器の整備等に取り組むこととしています。

このプランに基づく初めての予算である令和7年度当初予算では、「学校トイレ洋式化100%大作戦」と銘打ち、長年の懸案であった中学校トイレの洋式化に着手することとしました。学校のトイレ環境は、快適な学校生活を送る上で重要であり、特に女子生徒が心身面で大きな変化を生じる中学校において、トイレ環境の整備は喫緊の課題であり早急な改善が求められています。

一方、全国的な課題である教職員不足と同様、公共工事における技術者不足、特に設備設計業者不足も大きな問題になっていると聞いています。こうした状況下、教育委員会は、従来の公共工事の発注方式だけでは、トイレ環境の早急な改善が困難と判断し、今回「設計施工一括発注（デザインビルド方式）」という、新たな整備手法に取り組むことといたしました。

設計施工一括発注方式は、設計と施工を一体的に発注することで、業務の効率化、工期の短縮、コストの削減といったメリットが期待できます。この新たな取組に、貴社からは、豊富な経験と高度な技術力やノウハウを最大限に活用されたご提案をいただき、現在は、選定された事業者として、迅速かつ効率的に、生徒たちが安心・快適に利用できるトイレ環境の整備を進めていただいております。

また、貴社は「技術を生命線」とする企業理念のもと、「専門的高技術技能集団の確保と育成」を掲げるとともに「資源のリサイクルと環境保護への貢献」をモットーに、SDGsに取り組んでおられます。本市の教育現場においても、SDGsは子どもたちが社会や環境の問題を理解し、未来を担う人材として成長するための重要な理念であり、日々の教育活動に積極的に取り入れております。貴社の取り組みは、身近な「生きた教材」として、子どもたちの学びに様々な示唆を与えていただいており、重ねて感謝いたします。

結びになりますが、中学校トイレの洋式化は、今後も2年間にわたり継続する予定です。また、学校施設の老朽化対策や空調設備の整備など、安全安心で快適な学校環境の整備は道半ばです。これらの実現のため、貴社をはじめとする設備工事業者の皆様の、引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、貴社のますますのご発展を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

【経歴書】

おおた きよじ
太田 清治

昭和35年11月22日生

【学歴】

長崎大学教育学部（昭和59年3月卒業）

【略歴】

昭和59年4月 北九州市立中学校 教諭
平成22年4月 北九州市立中学校 校長
平成30年4月 北九州市教育委員会事務局 指導部長
平成31年4月 北九州市教育委員会 教育次長
令和 3年4月 九州産業大学 国際文化学部 教授
令和 7年4月 北九州市教育委員会 教育長

（現在に至る）